

3つのピースでかわもと版地域包括ケアシステムの
ジグソーパズル：つなぐつながる

住民主体による生活支援や集いの場の創出などの地域づくり活動が、医療・看護・介護・福祉に取り組む事業所との連携を深め、町役場による制度化・予算化の動きを推進。

島根県川本町ってどんなまち？

平成の大合併のときに、市町村合併しなかった町

江の川流域の「川本地区」「西地区」、農村風景が広がる「三原地区」の三つの主要なエリアがある

住民組織「三原の郷未来塾」とそれを町全体に横展開する「たすけあい川本」の動きにより川本町には
住民主体の地域づくり活動が根付いてきた



車で
出雲空港から 1時間 30分
広島空港から 2時間 10分
萩石見空港から 2時間

《基本データ》(R4.4.30)

人口	3,109人
面積	106.43 km ²
高齢化率	44.7%
自治会数	31
保育所数	3
小中高	1校ずつ

かわもと版地域包括ケアシステム

医療・看護
介護・福祉
の専門家

・出番づくり
・居場所づくり
・生活支援
を担う住民組織

キーピースは
住民主体の
地域づくり活動

予算をつけて
民間の活動を支援する町役場



みんなの学びの場「ふるさと学」



話題が尽きない昔の地図づくり



作り手も食べ手も楽しいスープの日



医師による認知症のお話



司法書士による終末のお話



家で眠っていた鯉のぼりが復活



生涯スポーツ「ポッチャ」体験



自宅で暮らすための生活支援



暮らしの保健室



役場と住民組織の定例会



各地区サロン運営者の定例会

川本町のたすけあいにおける、住民活動の大事なポイント

- インフォーマルサービスを担っている**住民組織のフットワークの軽さ**
- 動いてみたらニーズが見え**、試行錯誤しているうちに**賛同者・協力者が増えてきたこと**
- たすけあい活動を仕組み化した「三原の郷未来塾」の三原モデルと、それを町全域に展開し、関係機関を巻き込む「たすけあい川本」の活動が**町の重点プロジェクトとなり予算がついたこと**
- 生活支援もサロンの運営もサロンへの参加も、**原動力は「疲れたけど楽しかった！」**

今、見えてきたこと これからのこと

- 子育て・単身世帯を巻き込む地域づくりの必要性 → **みんなの食堂、子どもの居場所づくり**
- 地域づくりから見えた福祉の課題 → **社協、障がい者支援施設等と手探りしながら協働へ**

川本町  ・三原の郷未来塾・たすけあい川本 